

令和3年2月1日

狛江市議会議長

石井 功 様

建設環境常任委員会

委員長 佐々木 貴 史

建設環境常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務について調査した結果を、次のように報告いたします。

記

1 調査事件名

公園の現状確認と今後のあり方について

2 調査の目的

狛江市内には令和3年1月1日現在、82カ所の都市公園・児童遊園等が設置されている。遊び場として整備された公園や運動広場、植物や昆虫等自然あふれる公園等さまざまな公園がある。これらの公園には、小さな子どもを連れた親子でにぎわう公園、多くの小学生が集う公園、高齢者が体操や散策で利用されている公園など市民の憩いの場として利用されている。

その一方で、ほとんど利用されずに「空き地」としか見られない公園があるのも事実である。

そのため、公園の現状を確認し今後のあり方を調査することとした。

3 調査の結果

公園の現状確認については、日頃の議員活動の中で、気になる公園の課題等を持ちより、その中から実態調査のために数カ所の公園を視察。多世代の公園の利用状況確

認のため、本委員会として保育施設等にアンケートにて聴き取り調査を実施。また、地域の公園についてご意見・ご要望の聴き取り調査として各町会・自治会の皆さまにアンケート調査を実施。さらに、こまえ市議会の報告と市民の意見を聴く会において、本委員会は「みんなで公園を考えよう！」と題し、参加者と意見交換を実施した。これらの調査等については、皆さまから貴重なご意見やご要望を頂戴し、本委員会での活発な議論の参考にさせて頂いた。ご協力頂いた皆さまに改めて感謝を申し上げる。

今後のあり方については「そもそも公園とは」という認識の共有化を図るため、東京農業大学・地域環境科学部・地域創成科学科・地域デザイン学研究室の入江彰昭准教授を訪問し、多岐にわたる貴重なご教示を賜り、有意義な意見交換も実施。この時に入江准教授から紹介いただいた羽根木公園・石仏公園・烏山川緑道についても視察した。入江准教授の講義と市内外の公園視察には、担当部長と課長にも同行いただき、認識を共有し貴重な経験となった。こういったアンケート結果の精査、現地視察や講義の受講をもとに委員会で議論を深め、さまざまな意見を集約し本委員会として次の事項について検討いただくよう要望する。

(1) 防災倉庫の設置について

町会等からの要望が多いのが防災倉庫の設置である。地域によっては町会の倉庫（防災倉庫含）の設置場所が無く、その運営等に支障をきたす案件もある。利用者の少ない公園に防災倉庫を設置できれば、地域の安心につなげることが出来る。また設置への許可基準についても手続の簡略化に向け検討いただきたい。

(2) トイレ、ベンチの設置について

多世代の利用者から要望が多いのがトイレ（マンホールトイレ等含）とベンチの設置である。トイレについては財政面や設置後の管理運営、防犯上で課題が多いことも承知しているが、多くの利用者から要望されているものである。また、ベンチについては子どもを見守る保護者等からの要望が多く、高齢者が遊ぶ孫を見守りながら休める大事なものでもある。またベンチがあることにより、そこが懇談の場となることも考えられるため、検討いただきたい。

(3) 遊具の設置等について

遊具については劣化等による使用禁止や汚れにより使用したくないと感じられるもの、使用できないものが見受けられる。遊具修理等のメンテナンスの充実、また遊具の更新や新たな設置については、利用者の意見を反映させるなど市民ニーズにかなった、またバリアフリーの視点を含めた遊具等の設置を検討いただきたい。

(4) 防犯の観点について

植栽の管理（伐採刈込等）については、防犯上からも定期的な手入れが必要である。公園内が見通せることにより、利用者増にもつながると考えられる。手入れ等の管理については地域住民にアドプト制度を呼びかけ、地域の公園に愛着を感じられるような取り組みも考えられる。また、公園と街路の境界の柵等を撤去するなど開放的にして公園の出入口を複数にするなど、防犯の観点からも公園の設置方を検討いただきたい。

(5) 利用者の少ない公園の利活用について

本委員会での共通認識は、利用者の少ない公園の利活用である。公園については統廃合という考え方は難しく、現在の設置場所でその地域の課題に対応出来る利活用が求められている。利用されていない公園をどのように活用していくのか、何らかの工夫が必要、公園のリノベーションの検討が必要、用途変更の検討などが議論されたものの、一定の結論を見出すまでには至っていない。利用されていない公園については、マイナス面と受け止められがちであるがプラス思考で捉え、狛江らしい魅力ある公園（施設）を検討いただきたい。

4 その他

上記「調査の結果」の冒頭で述べたとおり、この間市民の皆さまから多くの貴重なご意見ご要望を頂戴した。この中には、調査の主題である「今後の公園のあり方」についてのヒントに溢れている。例えば公園の樹木に名札を付けることにより異世代交流のきっかけになる、災害時に備えての水道やかまどベンチの設置、ウィズコロナ時代に求められているWi-Fi環境の整備、高齢化により自主管理が難しい公園管理の制度の見直しなど、本報告書に記載しきれない内容のため、アンケート調査で寄せられた結果については、担当部に別に添付して情報共有を図ることとする。ご要望の中で特に急を要する案件については、早急に対処されるよう求めるとともに今後の公園のあり方の検討の参考としていただきたい。

最後に入江准教授との懇談的な話の中で「ここは良いと思う公園」について尋ねたところ、「狛江市の前原公園（とんぼ池公園）」とご回答いただいたことに驚きと同時に、魅力ある公園は狛江市内にも厳然とあることを改めて認識させていただいた。そして本委員会での議論を深めるなかで、これからも私たちは自信を持って魅力ある公園づくりに取り組んで行こうという気持ちを共有することができたことに感謝を申し上げ報告書とする。

5 調査の経過

○ 委員会開催日（合計 11 回開催）

令和元年 6 月 28 日	所管事務調査事項を決定
令和元年 7 月 29 日	調査項目を決定，今後の調査に必要な資料の要求
令和元年 9 月 17 日	資料に基づき市側より説明，意見交換
令和元年 11 月 5 日	意見交換，視察先の検討及び委員派遣の決定
令和元年 12 月 16 日	視察の感想及び意見交換，委員派遣の決定
令和 2 年 1 月 31 日	現地調査の感想及び意見交換，「保育施設等へのアンケート調査結果」について意見交換
令和 2 年 7 月 31 日	「こまえ市議会の報告と市民の意見を聴く会」の感想及び委員派遣の決定
令和 2 年 9 月 17 日	現地調査の感想及び意見交換
令和 2 年 11 月 2 日	「町会・自治会へのアンケート調査結果」について意見交換及び調査報告書作成に向けての協議
令和 2 年 12 月 15 日	調査報告書作成に向けての協議
令和 3 年 2 月 1 日	調査報告書決定

○ 委員派遣

令和元年 12 月 2 日	東京農業大学に調査のため委員 7 人を派遣
令和 2 年 1 月 14 日	羽根木公園，石仏公園，烏山川緑道に調査のため委員 7 人を派遣
令和 2 年 8 月 12 日	本村児童遊園，中和泉児童遊園に調査のため委員 7 人を派遣

○ 参考

令和 2 年 2 月 15 日	「こまえ市議会の報告と市民の意見を聴く会」を開催 保育施設等，町会・自治会へ「公園についてのアンケート調査」を実施
-----------------	--